

変 更 後

変 更 前

目 次

第 1	前 文・・・・・・・・・・・・・・・・	1
第 2	中期目標の期間・・・・・・・・	2
第 3	目標の設定	
I	最適な医療の提供	
1	患者の視点に立った医療サービスの提供・・・・・・・・	2
2	高度医療の提供・・・・・・・・	2
3	地域の医療拠点としての機能の充実・・・・・・・・	3
4	西和医療センターの移転・再整備の推進・・・・・・・・	3
II	地域の医療力向上への貢献	
1	地域の医療機関等との役割分担と連携強化・・・・・・・・	4
2	地域の医療機能の向上のための支援・・・・・・・・	4
3	医療 D X の推進・・・・・・・・	4
4	災害医療体制の強化・・・・・・・・	4
5	県民への医療・健康情報等の提供・・・・・・・・	4
III	優れた人材の確保・育成	
1	優れた医療人材の確保・育成・・・・・・・・	5
2	働き方改革の推進・・・・・・・・	5
3	看護大学のあり方の検討・・・・・・・・	5
4	経営感覚・改革意欲に富んだ人材の確保・育成・・・・・・・・	5
IV	安定した法人経営	
1	ガバナンス体制の充実・・・・・・・・	6
2	安定した経営基盤の確立・・・・・・・・	6

目 次

第 1	前 文・・・・・・・・・・・・・・・・	1
第 2	中期目標の期間・・・・・・・・	2
第 3	目標の設定	
I	最適な医療の提供	
1	患者の視点に立った医療サービスの提供・・・・・・・・	2
2	高度医療の提供・・・・・・・・	2
3	地域の医療拠点としての機能の充実・・・・・・・・	3
4	西和医療センターの移転・再整備の推進・・・・・・・・	3
II	地域の医療力向上への貢献	
1	地域の医療機関等との役割分担と連携強化・・・・・・・・	4
2	地域の医療機能の向上のための支援・・・・・・・・	4
3	医療 D X の推進・・・・・・・・	4
4	災害医療体制の強化・・・・・・・・	4
5	県民への医療・健康情報等の提供・・・・・・・・	4
III	優れた人材の確保・育成	
1	優れた医療人材の確保・育成・・・・・・・・	5
2	働き方改革の推進・・・・・・・・	5
3	看護大学の移転・再整備の推進・・・・・・・・	5
4	経営感覚・改革意欲に富んだ人材の確保・育成・・・・・・・・	5
IV	安定した法人経営	
1	ガバナンス体制の充実・・・・・・・・	6
2	安定した経営基盤の確立・・・・・・・・	6

地方独立行政法人奈良県立病院機構中期目標 新旧対照表

変 更 後	変 更 前
第 1 前文 （略） 第 2 中期目標の期間 （略） 第 3 目標の設定 I 最適な医療の提供 1 患者の視点に立った医療サービスの提供 （略） 2 高度医療の提供 （略） 3 地域の医療拠点としての機能の充実 県における急性期医療の拠点病院として、広域的な高度救急医療の提供体制を整備し、救急患者の受入に、より一層取り組むこと。特に、小児・周産期の患者への対応に努めること。 リハビリテーションセンターにおいては、県の回復期医療の基幹病院として、在宅復帰の推進に向けリハビリ機能の充実と地域の医療機関との連携に取り組むとともに、県の発達障害児医療の拠点としての機能の確保を図ること。 また、入院機能については、公立病院として担うべき機能を踏まえ、効果的な医療の提供の実現に向け、移転・再整備を行う西和医療センターとの集約化に向けて取組を進めること。 さらに、新型コロナウイルス感染症拡大時に、公立病院が感染症拡大防止、感染患者への医療提供に大きな役割を担った経験を踏まえ、日頃から県内の感染症拡大に備えるとともに、感染症医療の充実に取り組むこと。 特に次に掲げる事項について、中期計画において数値目標を設定のうえ取り組むこと。 ① 断らない救急医療の充実 ② 小児・周産期医療の充実 ③ リハビリテーション機能の充実 ④ 感染症対策・感染症医療の充実・推進 4 新西和医療センターの移転・再整備の推進 新西和医療センターの令和14年度中の開院を目指し、県、関係市町村等と連携して、移転・再整備を推進すること。西和地域の重症急性期医療を担う基幹病院として必要な機能を整備するとともに、今後の高齢化や人口減少の進行等による医療ニーズの変化、医師等の働き方改革も念頭に入れた医療従事者の確保、地域の医療機関や総合医療センターとの役割分担等を踏まえ、県の医療提供体制にとって適切な規模とすること。	第 1 前文 （略） 第 2 中期目標の期間 （略） 第 3 目標の設定 I 最適な医療の提供 1 患者の視点に立った医療サービスの提供 （略） 2 高度医療の提供 （略） 3 地域の医療拠点としての機能の充実 県における急性期医療の拠点病院として、広域的な高度救急医療の提供体制を整備し、救急患者の受入に、より一層取り組むこと。特に、小児・周産期の患者への対応に努めること。 リハビリテーションセンターにおいては、県の回復期医療の基幹病院として、在宅復帰の推進に向けリハビリ機能の充実と地域の医療機関との連携に取り組むこと。 <u>また、</u>新型コロナウイルス感染症拡大時に、公立病院が感染症拡大防止、感染患者への医療提供に大きな役割を担った経験を踏まえ、日頃から県内の感染症拡大に備えるとともに、感染症医療の充実に取り組むこと。 特に次に掲げる事項について、中期計画において数値目標を設定のうえ取り組むこと。 ① 断らない救急医療の充実 ② 小児・周産期医療の充実 ③ リハビリテーション機能の充実 ④ 感染症対策・感染症医療の充実・推進 4 新西和医療センターの移転・再整備の推進 新西和医療センターの令和13年度中の開院を目指し、県、関係市町村等と連携して、移転・再整備を推進すること。西和地域の重症急性期医療を担う基幹病院として必要な機能を整備するとともに、今後の高齢化や人口減少の進行等による医療ニーズの変化、医師等の働き方改革も念頭に入れた医療従事者の確保、地域の医療機関や総合医療センターとの役割分担等を踏まえ、県の医療提供体制にとって適切な規模とすること。

地方独立行政法人奈良県立病院機構中期目標 新旧対照表

変 更 後	変 更 前
Ⅱ 地域の医療力向上への貢献 （略） Ⅲ 優れた人材の確保・育成 1 優れた医療人材の確保・育成 （略） 2 働き方改革の推進 （略） 3 看護大学校のあり方の検討 将来の県の医療を支える優秀な看護人材を確保・育成するため、最新の看護教育を実践するとともに、看護師を目指す学生にとって魅力のある看護大学校の今後のあり方を検討すること。 4 経営感覚、改革意欲に富んだ人材の確保・育成 （略） Ⅳ 安定した法人経営 1 ガバナンス体制の充実 （略） 2 安定した経営基盤の確立 病院機構の理念を実現し、中期目標を達成するために、安定した経営基盤の確立に全力で取り組むこと。県の医療政策や県民の医療ニーズに応えつつ、収益確保と費用構造の改革に取り組み、累積赤字の低減に努めること。医療機器・医療情報システムの更新、西和医療センターの移転・再整備などの大規模な投資が予定される中、中長期的な財務バランスを踏まえた適切な投資に努めること。 特に次に掲げる事項について、中期計画において数値目標を設定のうえ取り組むこと。 ① 財務内容の改善 ② 収益の確保と費用構造改革の徹底 ③ 財務バランスを踏まえた計画的な投資 ④ 県立医科大学との更なる連携強化を含めた経営資源の効率的な活用	Ⅱ 地域の医療力向上への貢献 （略） Ⅲ 優れた人材の確保・育成 1 優れた医療人材の確保・育成 （略） 2 働き方改革の推進 （略） 3 看護大学校の移転・再整備の推進 将来の県の医療を支える優秀な看護人材を確保・育成するため、最新の看護教育を実践すること。<u>看護師を目指す学生にとって魅力のある「新奈良看護大学校」の移転・再整備に向け、県、関係団体等と連携して推進すること。</u> 4 経営感覚、改革意欲に富んだ人材の確保・育成 （略） Ⅳ 安定した法人経営 1 ガバナンス体制の充実 （略） 2 安定した経営基盤の確立 病院機構の理念を実現し、中期目標を達成するために、安定した経営基盤の確立に全力で取り組むこと。県の医療政策や県民の医療ニーズに応えつつ、収益確保と費用構造の改革に取り組み、累積赤字の低減に努めること。医療機器・医療情報システムの更新、<u>西和医療センターや看護大学校の移転・再整備</u>などの大規模な投資が予定される中、中長期的な財務バランスを踏まえた適切な投資に努めること。 特に次に掲げる事項について、中期計画において数値目標を設定のうえ取り組むこと。 ① 財務内容の改善 ② 収益の確保と費用構造改革の徹底 ③ 財務バランスを踏まえた計画的な投資 ④ 経営資源の効率的な活用